



横浜市立岡村小学校・学校だより R1.8.27 学校ホームページURL <http://www.educity.yokohama.jp/sch/es/okamura/>

岡村っ子も大人もキラリ☆輝いた夏休み

副校長 佐藤 俊英

夏の強い日差しを浴びて、各学年の花壇の野菜や植物が大きく成長し、緑陰教室からはセミの鳴き声の大合唱も聞こえてきました。この夏休みは、子どもたちが自分のめあてに向けて、がんばる姿がたくさん見られました。3年生は岡村西部の夏祭りで、大きな声でPRをしながら手作りの梅ジュース販売をしました。お店は大繁盛でした。また、本校で行われた磯子区水泳記録会には、41名が出場し、一人ひとりが全力を出し切って泳いでいました。中でも1名の児童は、横浜国際プールで開催された市の水泳大会にも出場しました。岡村っ子がそれぞれの場所で輝いていました。ぜひご家庭でも夏休みのお子さんの成長、キラリと光る輝きを見つけてあげてください。

ところで、この夏休み中も多くの地域行事が開催されました。そこには、子どもたちのために、地域のために、汗を光らせて働くたくさんの大人たちの姿がありました。毎年恒例となっている岡村西部自治会が主催する池田町児童交流事業は、今年は池田町の児童30名を横浜に迎えました。児童交流会では4年1組が「かがやきタイム（総合的な学習の時間）」で取り組んでいる「ゆるスポーツ」を紹介し、本校参加児童と池田小の児童が交流を深めました。しかし、その他の活動プログラムについては、すべて岡村西部自治会の皆様が準備・運営に当たっていました。同様に、各自治会で行われたお祭りでも、多くの地域の皆様が、一生懸命活動されていました。また、今年は、岡村中学校の多くの生徒が各地域のお祭りにボランティアとして参加していることがとても印象的でした。本校を卒業した後も地域とつながり合っている中学生の姿を見て、とても嬉しくなりました。家庭で我が子を慈しむ保護者の姿はもちろんですが、地域で子どもたちの健全育成や“まち”の活性化のためにがんばる大人たちの姿は、子どもたちの家庭・地域を大切にす心を自然と育てているのではないのでしょうか。

34日間の夏休みが終わり、学校に元気な岡村っ子の声が戻ってきました。本で行われた朝会では、子どもたちの生き生きとした表情がみられ、一回り成長したたくましさを感じることができました。授業再開にあたり、チーム岡村（教職員集団）としては、子どもたちと「夏休み」を振り返り、自身の成長を確認し、認め、ほめるとともに、次のステップへのめあて・目標を丁寧に引き出していきたいと思います。この夏休み期間中、心配していた大きな事故や怪我及び熱中症等の報告もなく、お陰さまで本日無事に前期後半のスタートを切ることができました。保護者及び地域の皆様方のご支援・ご協力に、心より感謝申し上げます。また、9月当初は、長期休業明けで、子どもたちの生活リズムが整わないことから健康面や精神面が不安定になりがちです。どうぞご家庭で気になることがあればいつでも学校にご相談ください。これからも『心も体も元気な岡村っ子』を育むために、家庭・地域の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。